

2021年5月25日 株式会社東陽テクニカ

NTT ドコモ参画のローカル 5G プロジェクトを支援

総務省実施の"地域課題解決型ローカル 5G 等の実現に向けた開発実証"

株式会社東陽テクニカ(本社:東京都中央区、代表取締役社長:高野 俊也、以下 東陽テクニカ)は、総務省が実施した令和2年度「地域課題解決型ローカル5G等の実現に向けた開発実証」(実証期間:令和2年9月~令和3年3月末)において株式会社NTTドコモ(以下NTTドコモ)が参画した3案件の支援を行いました。本実証は総務省において一般競争入札により事業者を決定し、合計19件の実証が行われました。

◆実証概要

2021 年 4 月 16 日付 総務省発表

「課題解決型ローカル 5G 等の実現に向けた開発実証」に係る令和 2 年度成果及び令和 3 年度実施方針の公表(https://www.soumu.go.jp/menu_news/s-news/01ryutsu06_02000291.html)

《支援対象案件》

- -No.10 遠隔・リアルタイムでの列車検査、線路巡視等の実現
- -No.11 観光客の滞在時間と場所の分散化の促進等に資する仕組みの実現
- -No.17 へき地診療所における中核病院による遠隔診療・リハビリ指導等の実現

【 東陽テクニカの支援概要 】

東陽テクニカは、ローカル 5G に対応した無線環境構築支援ツール「iBwave Design」を用いて、上記3つの実証課題を支援しました。

本製品は、無線ネットワークの構築・伝搬シミュレーション・評価など、設計プロジェクトを一元管理できる PC ソフトウェアです。実際のローカル 5G エリアを 3D モデルとして再現し、周囲の建材やネットワーク機器、さらに実際のアンテナ特性をパラメータとして取り込むことで、より詳細なネットワークの設計検討を実現します。

このたびの支援では、提供された図面情報をもとに各実証課題の周囲環境とネットワーク構成を 3D モデル化しました。うち2箇所については現地調査にも同行し、調査結果を「iBwave Design」上に反映して実地をより忠実に再現した 3D モデルを作成しました。また、各実証課題において既設のローカル 5G 無線局(4.6GHz-4.9GHz帯)のアンテナパターンを含む実際の設置状況をシミュレーションにも反映し、その計算結果は現地サーベイとの比較検討などに活用されました。

1



【「iBwave Design」製品特長 】

「iBwave Design」は、3D モデリングによる精緻なシミュレーションを高速で行うことが可能で、無線環境に必要なネットワーク機器の最適化ができます。これによりアンテナ設置時における手戻り工数や納期を削減することが可能です。また、これまで過剰に設置していたアンテナ数量を最適化し、アンテナとアンテナ設置に伴う工事費用を削減することで、プロジェクトのトータルコスト低減と無線環境の品質保証にも寄与いたします。

【 製品データ 】

■製品名:無線環境構築支援ツール「iBwave Design」 5G/4G/3G/2G/LoRA/UWB/GPS など多様な無線テクノロジーの電波伝搬シミュレーションをサポート

<株式会社東陽テクニカについて>

東陽テクニカは 1953 年の創立以来、世界最先端の計測機器の輸入販売を行ってきました。現在の事業分野は、情報通信、自動車、エネルギー、EMC(電磁環境両立性)、海洋、ソフトウェア開発、ライフサイエンスなど多岐にわたり、独自の計測技術を搭載した自社製品の開発にも力を入れ、国内外へ事業を拡大しています。「"はかる"技術で未来を創る」のスローガンのもと、5G(第 5 世代移動通信システム)の普及や自動運転車開発なども支える最新ソリューションを提供することで、安全で環境にやさしい社会づくりと産業界の発展に貢献してまいります。

株式会社東陽テクニカ Web サイト: https://www.toyo.co.jp/

★ 本件に関するお問い合わせ先 ★

株式会社東陽テクニカ 経営企画部マーケティング課

TEL: 03-3279-0771(代表)

E-mail: marketing_pr@toyo.co.jp

メーカー総合ページ: https://www.toyo.co.jp/ict/maker/detail/iBwave.html

※本ニュースリリースに記載されている内容は、発表日現在の情報です。製品情報、サービス内容、お問い合わせ先など、予告なく変更する可能性がありますので、あらかじめご了承ください。

※記載されている会社名および製品名などは、各社の商標または登録商標です。